

一般質問者一覧表 〔第1回市議会定例会〕
令和3年3月11日、12日開議

質問日	令和3年3月11日（木）		質問方式	分割方式				
質問順位	1	会派名	公明党	議席番号	7	氏名	山崎 とし子	
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名	
1	コロナ禍における音楽事業について	<p>コロナ禍において、音楽事業が大変な影響を受けている。この1年間、本市では、感染対策を行いながらの公演が開催されてきた。また、有客公演と有料ライブ配信のデュアルモードによる開催も実験的に実行された。そこで、今後の音楽事業について本市の考えを以下伺う。</p> <p>(1) 市民が、浜松国際ピアノコンクールなどの映像配信コンサートを鑑賞しやすい環境の整備について考えを伺う。</p> <p>(2) 音楽団体が公演を開催する際、映像配信技術を利用しやすいようサポートをする考えはないか伺う。</p>						中村文化振興 担当部長
2	コロナ禍におけるメンタルヘルス対応について	<p>令和2年において、全国の自殺者数の推移は、2万919人と対前年比750人増（3.7%増）となり、コロナ禍による影響が強いと感じられる。傾向として、女性の増加が著しく、また、特に小中高生の自殺者数は440人と過去最多となっている。</p> <p>平成18年に自殺対策基本法が成立して以来、本市においては平成21年度から自殺対策推進計画を策定し、各種相談事業を充実させてきたと評価している。</p> <p>また、昨年2月定例会でも質問したが、メンタルヘルスの分野でも、音楽療法が有効であると捉えられている。コロナ禍の影響で、声を出すことや人が集まって楽器を演奏することなどが難しくなっていると聞いているが、このようなときだからこそ、音楽の持つ力を有効に利用していくことが必要だと考える。そこで本市の考えを以下伺う。</p> <p>(1) 令和2年の本市における自殺者数推移にどのような傾向が見られたか伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に関する行動変容、生活環境の変化を受けた、本市の「心のほっとライン」における相談状況を伺う。</p> <p>(3) 感染不安や陽性者への心のケアの取組状況について伺う。</p> <p>(4) 精神保健福祉センターが取り組む音楽療法の方法と効果を伺う。</p>						鈴木医療担当 部長
3	子供の相談窓口について	<p>コロナ禍により、児童・生徒たちは不安な日々が続いており、子供たちのストレスも例年より強くなっている。その結果、不登校児童・生徒も増加していると聞く。そこで、本市においての現状と見解を以下伺う。</p>						伊熊学校教育 部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>(1) 教育総合支援センター相談窓口における、相談件数と相談内容の傾向について伺う。</p> <p>(2) 民間が運営する子供専用相談窓口である「チャイルドライン」は、子供の悩みの多様化にも対応している。そこで、行政と連携していくことが必要と考えるが、見解を伺う。</p>	
<p>4 浜松の教育について</p>	<p>国のG I G Aスクール構想が始まり、教育のニーズが多様化する時代にタブレット端末を効果的に取り入れていくことが期待され、令和4年度までに1人1台の配備が完了することで、教育環境が大きく変わろうとしている。</p> <p>また、I C T等を活用した学習教材を使うことで、自宅での学習もオンライン授業も効果的に行うことができ、学びの保障が得られることになるというよい点もあるが、リアルな教育という観点や、また子供の健康面から不安な点も考えられる。本市の考えについて以下伺う。</p> <p>(1) 令和元年10月25日に文部科学省より「不登校児童生徒への支援の在り方について」が通知されているが、I C T等を活用した学習活動を行った場合の出席の取扱いについての考えを伺う。</p> <p>(2) I C Tを効果的に活用することにより、授業をはじめ、教育活動の在り方が変わっていくと思われる。その一方で、豊かな人間性や価値観を形成する上で、ものづくりなどの実感を伴う学びやリアルな体験も一層重要になると考えるが、本市の学校教育の質の向上についての見解を伺う。</p> <p>(3) これからデジタル教材を使う子供たちには、自発的な健康管理が必要だと考えるが、考えを伺う。</p> <p>(4) 夜間中学について、我が会派は設置を求め議会質問等を行っているが、さきの菅総理大臣の国会答弁において、今後5年間で、全都道府県及び全政令指定都市において少なくとも1校は設置する旨の発言があった。そこで、設置に向けての本市の取組を伺う。</p>	<p>花井教育長</p>
<p>5 ごみ減量推進について</p>	<p>SDG sの12番「つくる責任つかう責任」についての課題に向き合うため、また資源を有効に活用する循環型都市を目指していくために、市民一人一人が、今まで以上に廃棄物の減量に関心を持ち、環境に優しい生活をしていくことが重要であると考えます。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 本市では「ごみ減量天下取り大作戦」を3年間推進してきたが、その成果と課題について伺う。</p> <p>また今後、さらにごみ減量推進を市民に啓発するためにどのような展開を考えているか伺う。</p> <p>(2) 家庭ごみ有料化が、環境審議会でも審議されているが、</p>	<p>影山環境部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>有料化について審議が必要になった経緯を伺う。 また現在の進捗状況と今後の予定について伺う。</p>	
<p>6 災害対策について</p>	<p>近年、地震や台風、ゲリラ豪雨による河川の氾濫などが激甚化しているが、このような災害に対応するための対策が重要になっている。そこで本市の災害対策について以下伺う。</p> <p>(1) 現在進めている災害情報伝達手段の整備の状況と、今後の運用について伺う。</p> <p>(2) 避難所等の運営について以下伺う。</p> <p>ア コロナ禍では分散避難を推奨しているが、周知方法について伺う。</p> <p>イ ペットへの対応について伺う。</p> <p>ウ コロナ禍において自治会集会所を緊急避難所として利用することも考えられるが、その場合を想定した防災訓練の在り方について伺う。</p>	<p>小松危機管理 監</p>